

2019年度 JTA男子組手ランキング・ベスト7

第30回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会 A・B級組手選抜者及び推薦出場者（暫定）

2019年8月25日
日本テコンドー協会
宗師範 河 明生

2019年度、JTA組手ランキング・ベスト7を定め、
第30回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会・組手無差別級の選抜出場及び推薦出場選手を発表する。
A級は無印。ただし、本人が希望した場合、B級への変更も可とする。B級は*印。

記

選手名	段位	所属	年齢	身長/体重	出身地	選抜基準
八幡直明	初段	東京中野 TC	31	179/80	横浜	全日本FT大会男子無差別級 優勝
1, 組手ベスト7 (JTA男子組手ランカー。第30回全日本FT大会男子無差別級組手出場権獲得者)						
倉田剛志	二段	千葉柏TC	39	186/89	北海道函館	全日本FT大会男子無差別級A級 2位 関東大会一部重量級 優勝 東京大会一部無差別級 優勝 関西大会一部中重量級 優勝
第2～4位 該当者無し						
*戸谷優仁		神奈川大学湘南校体育会	20	/		関東大会一部軽中量級 優勝 東京大会一部軽中量級優勝 横浜大会一部無差別級 優勝
秀崎康隆	初段	福岡甘木 TD	35	173/73	福岡秋月	佐賀大会一部無差別級優勝 長崎大会一部無差別級優勝

第7位 鈴木裕司 初段 湘南平塚 TC 神奈川平塚 関西大会一部軽中量級 優勝

2、アンダー7 その1 (予選会優勝に基づく全日本大会出場権獲得者)

第8位 辻 陽介 三段 愛知大府 TC 3 17 / 名古屋 岡山大会一部無差別級 優勝

第9位 西岡 健 二段 渋谷 TC 39 173/75 神奈川相模原 神奈川大会一部重量級 優勝

3、アンダー7 その2 (予選会入賞・試合内容に基づく全日本大会推薦出場者)

第10位 伊藤岳陽 二段 名古屋天白 TC 19 176/85 名古屋市 関西大会一部中重量級 2位

第11位 中澤 友 初段 大阪弁天町 TC 大阪市 関西大会一部中重量級 3位

第12位 *濁澤 舜 初段 横浜市立大学体育会 20 / 静岡市 横浜大会一部無差別級 2位

3、アンダー7 その3 (JTA倶楽部活性化政策等に基づく全日本大会推薦出場者)

第13位 *近藤祐希 二段 長崎佐世保 TC 長崎佐世保

備考

1、ランキング選定基準 前年度全日本F T大会および予選会における順位を前提としながら、

- ①本年度予選会のレベル (激戦度)
- ②ランカーは優勝時における試合内容
- ③本年度予選会における直接対決の勝敗
- ④本年度予選会における試合内容を基準とした。

2, 推薦出場選手選考および注意

- ① J T Aは、J T Aの運営上、持続的にボランティアで貢献した選手や持続的に努力した選手が、全日本F T大会に出場できるよう配慮する団体である。
実力が十分でなくても、クラブ長等の持続的功労や持続的に予選会に挑戦する精神は評価に値するので推薦した。
- ② 推薦選手は、客観的に「フルコンタクト・テコンドー力」が足りないことを冷静に自覚しなければならない。
自己責任かつ死ぬかも知れないことを認識し、残存期間、フルコンタクト・テコンドーの修行を最優先し、防御能力を高めなければならない。
- ③ 予選会において優勝していたとしても、A級への出場は危険と判断した選手は掲載していない。
A級はレベルが高く、無差別級であり、かつノー・ヘッドギアである。死亡事故等を回避するためである。
予選会において優勝している選手は、全日本大学大会後に発表されるB級ランキングへ掲載する。

3, 選考外選手

予選会入賞者であっても

- ① 引退・退会している選手、
- ② 大学卒業後、一度も予選会に参加していない選手、
は除外している。

4, その他

- ① 関東圏の選抜男子選手は、総見に参加しなければならない。
参加しない場合は、公的職業特例等以外は出場権を取り消す場合がある。
- ② 推薦出場されたが、これを辞退した場合、いかなる理由があろうとも来年度以降、推薦出場の対象者とはならない。
潔く現役を引退することを薦める。